

(参考情報)

事 項	秋に開花し、結果したりんご果実の特性		
ね ら い	新梢頂芽に花が形成され、生育期間に開花し、結果する現象が観察される。各品種の果実の特性を明らかにする。		
内 容	<p>1．8～9月頃に開花・結果した新梢頂芽における種子のない果実の割合（無種子果率）は、「彩香」、「トキ」及び「王林」では81～93%と高く、「印度」では56%、「ふじ」では19%と低かった。</p> <p>2．果実の横径は、種子のない果実（無種子果）と種子のある果実（有種子果）で差がなかった。</p> <p>3．無種子果実では正常な種子がなく、あっても痕跡程度の種子であった。</p>		
期待される成果	開花した後に結果する果実の特性が明らかになり、りんご生理の基礎資料となる。		
利用上の注意事項			
問い合わせ（電話番号）	りんご研究所 栽培部（0172-52-2331）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成27年度 試験研究成績概要集（りんご）（りんご研究所）		

【根拠となった主要な試験結果】



写真1 新梢頂芽花そうの生育期間中の開花(9月19日)



写真2 新梢頂芽花そうの結実(10月21日)

表1 新梢頂芽果の有種子果または無種子果割合及び横径(平成27年 青森りんご研)

品種名	調査果数	有種子果		無種子果	
		発生割合(%)	平均横径(mm)	発生割合(%)	平均横径(mm)
彩香	29	7	35 (35~37)	93	38 (20~51)
トキ	32	19	25 (17~30)	81	27 (18~40)
王林	25	4	29 (~29)	96	35 (22~48)
ふじ	26	81	24 (12~35)	19	24 (17~30)
印度	9	44	25 (19~33)	56	27 (26~30)

(注) 1 発生割合は全果数中で占める割合  
2 内数字は最小~最大

表2 新梢頂芽果の種子形成状況(平成27年 青森りんご研)

品種名	有種子果(1果当たり)				無種子果(1果当たり)			
	種子数	しいな数	痕跡種子	計	種子数	しいな数	痕跡種子	計
彩香	1.5 (1~2)	0	1.5 (0~3)	3.0	0	0	2.8 (0~7)	2.8
トキ	2.3 (1~5)	0	3.3 (0~5)	5.6	0	0	5.7 (3~9)	5.7
王林	1.0 (~1)	0	6.0 (~6)	7.0	0	0	5.3 (0~7)	5.3
ふじ	3.2 (1~8)	0.04 (~1)	1.8 (0~5)	5.0	0	0	4.0 (1~7)	4.0
印度	2.8 (1~4)	0	4.8 (4~5)	7.6	0	0	6.0 (5~7)	6.0

(注)( )内数字は最小~最大